校長だより（令和３年１月）

校長　吉井靖明

明けましておめでとうございます。昨年中は、臨時休業や分散登校等、感染症対策にご協力をいただきありがとうございました。年末に警戒度が引き上げられるなど状況は予断を許しませんが、予防に努めつつ教育活動を進めていきたいと思います。さて今年は「丑(牛)年」、十二支の動物の中では最も動きが緩慢で歩みの遅い丑の年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われています。コロナ禍にあっても子どもたちが忍耐強く、目の前の学習や活動にしっかり取組み、生活自立と社会参加に向かい一歩ずつ着実に近づく年と捉えたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

○選挙出前授業・模擬選挙

12月11日(金)高等部生徒全員と保護者を対象に選挙出前授業及び模擬選挙を行いました。当日は藤岡市選挙管理委員会の講師の方３名より、選挙についての講義のあと、実際に候補者を選び投票を行う模擬選挙が行われました。実際の選挙に使用される記入台や投票箱を使いながら子どもたちは本番さながらの投票を体験しました。本人が自分で投票できない場合の代理投票の体験もできました。高等部はすでに18歳になり、選挙権を持つ生徒あるいは近い将来に選挙権を持つ人の集団です。選挙権はすべての国民が持つ平等な権利であり、これを行使することは国民としての義務でもあります。それぞれの意見が政治(学校生活)に反映され、よりよい社会(学校)がつくられるために必要な知識とスキルをしっかり学ぶことができました。

○高等部生徒会役員決定

模擬授業を受け、12月18日(金)に次期生徒会役員を決める立ち会い演説会及び選挙が行われました。今年は１・２年生から７名が立候補しました。立ち会い演説会では推薦人より応援演説、立候補者より良い学校作りへの決意表明が行われ、それぞれの熱い思いが伝えられました。激しい選挙戦の結果、５名の役員が選出されました。当選された方々には有権者（生徒）の期待に応えるべく藤特のリーダーとしての活躍に大いに期待しています。

○クリスマス行事

12月16日（水）小学部でクリスマス行事が開催されました。今年は感染症予防のため、１カ所に集まらずサンタさんが各グループの教室を回るという形式で行われました。一緒に歌を歌ったり、踊ったり。最後に一人ひとりにプレゼントが手渡され、記念写真を撮影しました。飛び跳ねながらうれしさを体いっぱいで表現する子、思わず抱きつく子、見慣れない姿に後ずさりする子、反応は様々でしたがとても楽しいひとときでした。

○「特別支援学校医療的ケア支援」教員研修

冬期休業の初日である12月23日(水)、職員を対象に医療的ケア支援の研修として群馬大学共同教育学部　吉野浩之教授より「摂食嚥下と感染対策」と題し、ご講演をいただきました。先生からは、食べることは栄養のためだけでなく、腸のため、脳のため、人生のためにあること、摂食嚥下の障害には様々な原因やタイプがあり、その状態に応じた指導・訓練が必要であり、そのための観察や評価をしっかりの行うこと、今食べられるから良いではなく障がいを持つ人のライフステージを見越した指導が必要であることなど貴重なご意見をいただきました。なお、この研修は本校として初めてオンラインによる双方向のリモートによって行われました。今後のオンライン授業の可能性を探る良い機会にもなりました。

～体育館建設予定地についてのお知らせ～

先日、体育館建設予定地において文化財の仮調査が行われたました。その結果、何らかの遺跡があると確認されました。つきましてはすでにご連絡したとおり１月５日から１月いっぱいの予定で埋蔵文化財事業団による本格的な調査が開始されます。工事車両の出入り等で保護者の方にはご迷惑をおかけする場面もあるかもしれませんが、ご理解とご協力お願いいたします。なお、体育館建設予定について、遅れは発生しないとのことでした。